

[標準様式例7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成26年度 水文観測精度向上検討業務
業務概要	本業務は、対象となる流域・河川の特性を踏まえて、水文観測に関する品質や精度の維持向上、高度化、効率化を図るために、今後の水文観測体系のあり方について検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 越智 繁雄 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契約年月日	平成26年 7月18日
契約業者名	(一財) 河川情報センター
契約業者の住所	東京都千代田区麹町一丁目3番地ニッセイ半蔵門ビル
契約金額	¥19,990,800円(税込み)
予定価格	¥19,990,800円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、対象となる流域・河川の特性を踏まえて、水文観測に関する品質や精度の維持向上、高度化、効率化を図るために、今後の水文観測体系のあり方について検討を行うものである。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、公平性、透明性及び客觀性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 一般財団法人河川情報センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業務場所	埼玉県 さいたま市中央区
業種区分	土木コンサルタント関係
履行期間(自)	平成26年7月19日
履行期間(至)	平成27年2月27日
備考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。